

浅科小学校だより

賢

優

健

令和5年4月6日(木) NO.1

佐久市立浅科小学校(58-2102)

(文責 校長 熊井恵子)

校庭の桜、木々の新芽、春の息吹は、子どもたちの新たなスタートを応援してくれている、そのような気持ちになってきます。令和5年度が始まりました。お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。本年度も子どもたちの教育に携わる者（学校・家庭・地域等）が共通の認識に立ち、子どもたちの支援・助言にあたることができますようご協力をお願いいたします。



令和5年度、本校は、1年生37名2学級、2年生33名1学級、3年生45名2学級、4年生41名2学級、5年生41名2学級、6年生47名2学級、たけのこ29名5学級、合計273名でスタートいたしました。

子どもたちは、新しい学年・学級での学習や生活に希望といくらかの不安を抱いて、始業式・入学式を迎えたことと思います。私たち教職員は、そのような子どもたちの思いを受け止め、子どもたちにとって学校が楽しい、学ぶことが楽しいと実感できるよう、努力してまいります。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、昨年同様、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

～始業式の校長講話より～

みなさんおはようございます。今日から、令和5年度の1学期が始まります。

今までの1年生は2年生に、2年生は3年生に、3年生は4年生に、4年生は5年生に、5年生は最高学年の6年生に、それぞれ学年が一つずつ大きくなって、今日から出発です。このあと、新1年生も入学します。きっとワクワクしながらも不安な気持ちでいることでしょう。困っていたら優しく声をかけてあげてくださいね。

新しい学年になったみなさんは、一つ大きくなったお兄さん、お姉さんです。去年1年間で身につけたこと、成長した自分に自信を持って、新しいことに挑戦していきましょう。

これから一つの詩を紹介します。

春のスイッチ 春になったら 花が いっせいにひらく どこかで 誰かが ポンと スイッチを入れたみたいに ぼくにも こんなスイッチ あるのかな 長い冬が過ぎ いっせいに ぼくのひらくような日が いつか ぼくにも くるのかな
--



これは、高階 紀一（たかしな きいち）さんの詩です。

「花」には、春を感じて花を開くスイッチがあります。

「人」には、心の春を感じて心を前向きにするスイッチがあります。心のスイッチを押すためには、自分がどんなことをがんばりたいかをはっきりさせることが大切です。どんな自分になりたいのか、どんな1年間にしたいのか、目標を決めましょう。さあ、令和5年度 新学期のスタートです。浅科小273人みんな、心のスイッチを押して「あいさついっぱい 笑顔いっぱい」そんな学校をみんなで作っていきましょう。

最後に、6年生の皆さんにお願いがあります。最高学年となった皆さんは、模範であり、あこがれの存在です。浅科小学校の先頭に立って、1年生から5年生を引っ張ってほしいと思います。期待しています。

【令和5年度 職員組織について】

本年度、以上 15 名の職員が新しく仲間入りしました。よろしくお願いします。

＜今年度の学校職員組織＞

校長	たけのこ1	教員業務支援員
教頭	たけのこ2	初任研コ-ディネ-タ-
1年1組	たけのこ3	栄養教諭
1年2組	たけのこ4	学校用務員
2年1組	たけのこ5	学力向上支援員
3年1組	音楽家庭科専科	学校司書
3年2組	理科専科	支援員
4年1組	英語専科	支援員
4年2組	日本語教室	支援員
5年1組	日本語教室	支援員
5年2組	養護教諭	A L T
6年1組	事務職員	育児休業
6年2組	学習習慣形成	

【学校におけるマスクの着用について】

文科省より4月からのマスク着用について、「学校教育活動に当たって、マスクの着用を求めないことを基本とすること」という通知が出されました。これを踏まえて、本校においても「学校生活において、児童及び教職員にマスクの着用を求めないことを基本」といたします。児童、教職員の心身の状況に配慮しながら、徐々にマスクなしの生活に慣れていく方向で対応していきます。但し、個人の様々な事情によるマスクの着用を妨げるものではありません。また、感染が拡大している状況の時には、一時的にマスク着用をお願いすることもございます。マスク着用の有無による差別や偏見等がないよう指導してまいりますので、ご家庭においても、ご配慮をお願いいたします。